

## 【佐伯市防災士会】

佐伯市防災士会（会長：内田武勇）は、「平成26年度佐伯市防災士会総会」を平成26年4月27日（日）に三余館で開催され115名の防災士が参加した。前段の総会においては、佐伯市長、佐伯市自治委員会連合会会長、佐伯市社会福祉協議会会長の来賓3名の御祝辞をいただいた後、上堅田（岸河内）地区の川野防災士を議長として、「平成25年度事業報告」、「平成25年度収支決算報告」、「会計監査報告」、「平成26年度事業報告（案）」、「平成26年度収支予算（案）」の協議が行われ全会一致で可決された。

平成26年度の主な活動は、佐伯市が実施する「水防訓練（6月）」「防災訓練（11月）」への積極参加、佐伯市と連携したスキルアップ研修の開催及び参加、先進地視察研修の実施等防災士としての知識・技術の向上と地区への貢献を図る活動となっている。

後段には、陸上自衛隊九州補給処長兼ねて目達原駐屯地司令、川崎朗陸将補を講師に迎え「南海トラフ巨大地震への備え。」を演題に基調講演を開催した。講師が東日本大震災の際、約1ヶ月岩手県庁に派遣され災害対処に当たった経験から当時の災害対策本部及び被災地の状況、また、公的機関の災害派遣活動の状況等実体験に基づいた内容で参加者も静観し講師の話に聞き入っていた。

印象に残った事は、「危機管理」とは、予想される災害（危機）に対する「計画（マニュアル）」を作成しその計画に基づき「訓練」を実施して問題点等を修正する。修正した計画を基に訓練を実施し修正する。この繰り返しである。

このことは、自主防災組織の活動においても重要な提言と感じた。



あいさつする内田会長



西嶋市長「祝辞」



議事進行する川野議長



参加した防災士の皆さん



質問する新女島区防災士



説明する事務局長



講話中の川崎陸将補



熱心に聴講する防災士  
(前列左から白川副市長、西嶋市長)

## 【防災啓発事業】

佐伯市防災士会の女性防災士有志6名は、平成26年6月6日（金）に「みのり幼稚園（上堅田）」の園児77名に対して、防災教育を実施した。

内容は、火災、風水害、地震・津波に関する「紙芝居」と地震・津波から身を守る「だんごムシのダンス」を園児と一緒に踊った。

その後、幼稚園が行った避難訓練に参加して、園児を避難地まで安全に誘導し防災教育を終了した。初めての試みであったが、事前練習を重ねた成果が十分に発揮された防災教育でした。

参加した防災士は、「園児の予想外の反応に戸惑う場面もあったが、楽しく活動できた。」「防災士として何かしなければと思っていましたが、こんな形で参加でき大変満足しています。」「これからも、市内全幼稚園でできるよう頑張りたい。」など、前向きな感想が多く聞かれた。次回は、6月26日（木）下堅田幼稚園で予定されているが、その後は未定です。市と連携し広報に努め女性防災士が活用する場を開拓していきたいと思います。



自己紹介する女性防災士



紙芝居の様子



アヒルのポーズを教える防災士



アヒルのポーズをとる園児



ダンゴムシのポーズ



園児と一緒に踊る防災士



避難誘導にあたる防災士



避難完了

### 【スキルアップ研修】

佐伯市防災士会は、平成26年6月10日（日）の午前・午後それぞれ1回防災士スキルアップ研修「家具の固定」を大分県立高等技術専門校で開催した。

同校建築科の先生2名を講師に迎え、家具固定に関する基本知識の座学に引き続き実技講習で家具定要領を防災士会会員45名が体験した。

壁の栈の見つけ方、電動ドリルの使用法、L字型金具の固定、鋸の使用法及び家具を固定する突っ張り棒の作成等すぐに役立つ知識と技能の習得を図った。

会員は、家具固定の知識・技能を地区に反映させようと真剣に取り組んでいた。家具固定の研修は、8月10日（日）にも午前・午後各1回予定されているが、定員を超える参加者が受講を希望している。



塩月副会長挨拶



小野副会長挨拶



座学の様子



ドリルの使用法



金具の固定



金槌による棧の位置確認



女性も頑張っていました。



鋸の使用法



突っ張り棒の作成